

高知くらしの護身術

305

葬儀サービス

納得して契約を

(2013年12月3日掲載原稿)

最近、家族や身内を中心とした「家族葬」や、火葬のみですませる「直葬」が増える一方で、故人好みのオリジナルな演出の葬式も増えています。

国民生活センターによると、このような葬儀スタイルの多様化を背景に、葬儀サービスに関する相談も増加傾向にあります。おもに、「価格やサービス内容について十分な説明がない」「質素な葬儀を希望したのに、高額な料金を請求された」などの相談です。

中には、「病院から自宅までの搬送を頼んだだけなのに、事業者が勝手に葬儀の準備に入ってしまった」「一番安いランクでよいと伝えたのに、次々と付属品がついて高額になった」などの事例もあったようです。

やはり、大切な人の死に直面しながら、葬儀の段取りや手配に奔走するのは、心身ともに大変です。故人とゆっくりお別れをするためにも、事前に準備をされてはいいでしょうか。

具体的には、自分がどのような葬儀を希望するのか、それにはどのくらいの費用がかかるかなどを生前に調べておき、家族ともよく話し合っておきましょう。また、冠婚葬祭互助会などに加入している場合は、家族に加入していることを伝えておきましょう。

残された家族が手配する場合も、契約をする前に見積もりを出してもらい、納得してから契約をするようにしましょう。見積もりに含まれない費用がどの程度あるかなども確認しましょう。なお、見積もりに含まれない費用が発生するときは、必ず事前に相談するよう、事業者伝えておきましょう。